

6. 環境活動情報

【ソフト面での省エネ・省資源対策】

○省エネルギー・省資源への啓発活動

夏季や冬季のピーク電力の削減を目標とした省エネ活動を中心に活動を進めました。

具体的な内容を下記に示します。

- ・HP や学内掲示板への具体的なエネルギー対策の公開
- ・講座・課・室単位での節電計画の作成および実施状況の確認(次項参照)
- ・照明の部分消灯(間引き等を含む)
- ・照明の LED 化(病棟のベッド灯等球切れしたものから順次 LED 電球に取替)
- ・夏季の暖房便座の電源 OFF(洗浄機能は使用可能)
- ・パソコンの省電力の徹底(HP に節電マニュアルの公開)
- ・エアコンの消し忘れ防止(一定時間に強制 OFF 設定)
- ・自動販売機照明の消灯
- ・クールビズ・ウォームビズの推進
- ・夜間の人通りが無い箇所の外灯の消灯
- ・太陽光パネルの清掃(6GJ のエネルギー効率の改善の見込)

○換気(外気量)の適正化

空調設備における換気量の適正化を図りました。これにより 1,643 (GJ)削減しました。

○節電計画書

下記のような節電計画書を各講座・事務部門の各課室に作成・提出を依頼しました。また一部の講座に対し、それに則った節電行動がとれているかを確認することでソフト面での省エネを推進しました。

課室節電計画書

(別紙)

各課室の節電対策を実施する責任者を選任のうえ、連絡先等を以下に記入してください。
節電責任者は実務的に指示ができる方を立ててください。

課室名	
節電責任者名	
内線	
連絡先メールアドレス	

1月5日から3月31日の冬季節電期間に各課室で実施いただく節電内容を下表に記入いただきます。

節電活動例が下表「節電対策」欄にすでに記入されています。貴課室で取り組む対策については「実施」欄に○を記入してください(取り組まない活動には○記入は不要です)。

「節電対策」欄にすでに記載されている項目以外に課室が独自に取り組む対策があれば、「その他事務室で実施できる節電項目」に記入のうえ、「実施」欄に○を記入してください。

節電責任者を中心にこの計画を実施してください。

節電対策の実施状況を建築・環境委員会が調査に伺うことがあります。

節電対策	節電対策の解説	実施
パソコン省エネ設定		
<ul style="list-style-type: none"> ・モニタの輝度を下げる ・モニタが節電モードになるまでの時間を短くする ・システムスタンバイまでの時間を短くする 	モニターの輝度を下げたり、モニター電源を切る時間を短くしたり、システムスタンバイまでの時間を短くする設定をお願いします。設定方法等くわしくはこちらをご覧ください。 (http://gakunai.shiga-med.ac.jp/mmc/setsuden2011/)	
エアコン20℃設定		
<ul style="list-style-type: none"> ・設定温度20℃の確認 	温度制限のない部屋のエアコンの温度設定は20℃としてください。	
不使用OA機器のコンセントを抜く		
<ul style="list-style-type: none"> ・サーバーの電源を抜く ・ハブの電源を抜く 	使用していないサーバーやハブの電源はコンセントから抜いてください。	
照明間引き		
<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯の間引き 	事務室・研究室の蛍光灯削除をお願いします。蛍光管を外すのが好ましいですが、スイッチによるコントロールでも構いません。前者の場合は施設課電気係(内線2056)に蛍光管取り外しの作業を依頼ください。後者の場合は、間違っただ点灯することのないような措置(掲示等)をお願いします。	
プリンター、FAX、コピー機などの稼働台数の集約化		
<ul style="list-style-type: none"> ・プリンター(複合機含む)稼働台数の集約 ・ファックスの稼働台数の集約 ・コピー機の稼働台数の集約 	おおむね500W以上の機器について集約・停止をお願いします。	
非実験用の冷蔵庫や電子レンジ等の集約化		
<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫、冷凍庫の集約 ・電子レンジの集約 ・電気ポットの集約 ・コーヒーメーカーの集約 ・炊飯器の集約 	非実験用冷蔵庫、電子レンジ電気ポット、コーヒーメーカー、炊飯器などは電力が大きいので集約・停止をお願いします。	
その他、研究室で実施できる節電項目		
	その他研究室で実施できる項目があれば記入してください。	

【ハード面での省エネ・省資源対策】

○環境に配慮した空調設備改修工事

平成 27 年度には、国際交流会館並びに分子神経科学研究センター及び本部管理棟の空調設備の改修工事を実施しました。これによる環境負荷軽減等は下記の通りです。



本部管理棟空調設備ガスヒートポンプから高効率電気式エアコンに更新
室外機5台(冷房能力合計 279kW)、室内機等 33 台



国際交流会館老朽化の空調設備を高効率エアコンに更新
室外機 11 台(冷房能力合計 30kW)、室内機 15 台



分子神経科学研究センター老朽化の空調設備を高効率エアコンに更新
室外機5台(冷房能力合計 103kW)、室内機 18 台
これらにより、261(GJ/年)削減することが可能となります。

○変圧器更新による省エネルギー

平成 27 年度に本学附属病院の第 1 電気室、第 2 電気室にある老朽化した変圧器をトップランナー変圧器(高効率な変圧器)に更新しました。これにより 274(GJ/年)削減することが可能となります。

今後も老朽化している変圧器を積極的に更新し、高効率化による省エネルギー化を進めてまいります。

<平成 27 年度に更新した変圧器>

【第 1 電気室】

附属病院 No.1Tr 150kVA
附属病院 No.3Tr 200kVA
附属病院 No.5Tr 100kVA
附属病院 No.8Tr 300kVA
附属病院 No.9Tr 200kVA
附属病院 No.10Tr 75kVA

【第 2 電気室】

附属病院 No.1Tr 100kVA
附属病院 No.3Tr 200kVA
附属病院 No.5Tr 500kVA
附属病院 No.6Tr 500kVA
附属病院 No.7Tr 500kVA
附属病院 No.8Tr 500kVA
附属病院 No.10Tr 200kVA

更新した変圧器



